

令和2年度 海外研究・臨床実習

番号	氏名	渡航先	国・地域	渡航先での受入期間
1	K. Y	ソウル大学	韓国	R2/4/3 ~ R2/6/5

令和 2 年度岸本国際交流奨学金による海外活動実施報告書

医学部医学科	6 年	学籍番号：*****	氏名：K・Y
--------	-----	------------	--------

渡航先国： SOUTH KOREA
受入機関名： SEOUL NATIONAL UNIVERSITY HOSPITAL
渡航先機関での受入期間： 令和 2 年 04 月 06 日 ～ 令和 02 年 06 月 05 日（61 日間）

<目的>

日本と韓国の医療状況や、全般的な病院のことを体験

小児の心臓血管外科の体験し、成人と小児の心臓血管外科手術は何が異なるか

韓国のチーム医療は何が異なるか

<実習内容>

Sun	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
				4.2 渡航先の宿 泊先へ到着	3 実習前の オリエン テーショ ン	4 宿泊先で 待機
5 宿泊先で 待機	6 耳鼻科の補 聴器研究科 に所属し研 究の紹介 毎日 9 時集 合で 5 時終 了	7 研究室 新しいタイ プのスマホ アプリを使 った補聴器 に対する研 究	8 研究室	9 研究室 純音聴力検 査やインピ ーダンス聴 力検査体験	10 一週間の 研究報告	11 宿泊先で 待機
12 宿泊先で 待機	13 研究室	14 研究室 Pupilometry hearing test の手伝 い	15 研究室	16 研究室 Pupilometry hearing test の手伝 い	17 一週間の 研究報告	18 宿泊先で 待機

19 宿泊先で 待機	20 研究室 Pupilometry hearing test の手伝 い	21 研究室 研究室みん なと食事会	22 研究室	23 人工蝸牛移 植手術に参 加	24 一週間の 研究報告	25 宿泊先で 待機
26 宿泊先で 待機	27 小児心臓血 管外科実習 開始 朝 7 時から 午後 5 時ま で 毎朝カンフ ァ	28 小児心外 ASD 手術 PAPVR 手術	29 小児心外 大動脈狭 窄症手術	30 小児心外 MAPCA+VSD 手術	5. 1 小児心外 ICU	2 宿泊先で 待機
3 宿泊先で 待機	4 小児心外 TOF VSD 手術 耳鼻科チー ムみんなの 飲み会	5 小児心外 MAPCA 手術	6 小児心外 TA 手術	7 小児心外 VSD 手術	8 小児心外 ICU	9 宿泊先で 待機
10 宿泊先で 待機	11 小児心外 TOF 手術	12 小児心外 チームみん なと昼食事 会	13 小児心外 TGA 手術	14 小児心外 TOF 手術	15 小児心外 代表教授 の特別講 義	16 宿泊先で 待機
17 宿泊先で 待機	18 形成外科実 習開始 朝 8 時から 午後 5 時ま で手術 毎朝カンフ ァ	19 形成外科 手術	20 形成外科 手術	21 形成外科 手術	22 形成外科 手術 教授との 面談	23 宿泊先で 待機

24 宿泊先で 待機	25 形成外科 手術	26 形成外科 手術	27 形成外科 手術	28 形成外科 手術	29 形成外科 手術	30 宿泊先で 待機
31 宿泊先で 待機	6.1 形成外科 手術	2 形成外科 手術	3 形成外科 手術	4 形成外科 手術	5 形成外科 手術	6 実習が終 わり宿泊 先でのチ ェックア ウト

＜実習の成果＞

9週間、耳鼻咽喉科、小児心臓血管外科、形成外科をローテーションしながら、新型コロナウイルスで本学校の学生は病院実習ができないところで僕一人で1対1というマンツーマンで代表教授からいろいろ教えていただきとても有意義な時間を過ごしました。韓国人でありながらも自分の国の大学病院や大型病院へ行ったことがありませんでしたので、日本で先生から「韓国病院はどう？」とか質問されたとき僕自身も知らなかったのになかなか答えるのが難しかったです。今回の海外実習をもとにして、日本とは違う国の医療状況やチーム医療など様々なことを体験することができて多くのことを感じました。

最初の耳鼻科の場合には新型コロナウイルスの一番流行っているときでしたのでなかなか病院実習はできず、研究科に所属し、今まで全く興味を持っていなかった補聴器について研究しましたが、また新しいフィールドを勉強できてよかったと思います。補聴器自体は高価であり、みんなが平等にいい補聴器を使えない状況で、スマホアプリで一般のイヤホンを使い、補聴器の代わりにするという画期的な研究でした。そして研究室には教科書だけに見ていた聴力検査機械を多く置かれていましたので、自らすべて体験できたのでいい勉強になったと思います。また人工蝸牛の移植の手術も体験できました。

ソウル大学病院は韓国の大学病院の中で一番であることもあり、小児病院として独自の病院がおりまして、そこは各課ごとに小児を専門としていましたので今まで、成人中心としてきた手術から小児へ移り、様々な小児外科の手術を体験できました。初めての小児の心臓血管手術をしたとき、また成人手術とは全く異なる手術方法でしたのでいろいろ勉強になりました。代表先生が韓国で3番目に入る心臓外科医でテレビでもしょっちゅう出演する有名な方でしたので、そういう人のすぐそばで手術が体験できてかけがえのない実習だったと思います。またこの先生が活動している、持続可能なグローバルヘルスケアを目標で途上国での心血管疾患で亡くなる人を減らすということで毎年何か国にも訪れ、直接手術法を教えたり、病院を建てるなどのボランティア活動についても講義があり、自分も将来貧しい人のため、グローバルヘルスケアを目指し、ボランティア活動をしたいと思いました。

形成外科ではいつも乳房再建しかないと思いましたが、リンパ管吻合マイクロサージャ

リー、頸部の動静脈奇形、皮膚移植、顔面骨折修復、口蓋裂、耳奇形手術など様々な形成外科手術が体験できました。また特に、手術で先生の補助として毎日スクラブとして入りましたが、学生である私に実際の手技を教わって、実際手術も参加し、皮膚吻合、移植、再建など自分の手でもできるようになり、人生で外科的な手技を一番学んで機会でありました。

それ以外にも学んだこととして、韓国は医学用語がすべて英語でしたので、また最初から英語で勉強して、最初は全く分かりませんでしたが、最後になると8割以上理解できるようになりました。

〈今後の抱負〉

来年卒業するにあたり、最後の年であり、このような形で海外で実習できるのは人生の中で最後だと思います。まずこのような機会を与えていただき、阪大の先生と関係者、また岸本奨学金という形で、奨学金を作ってくださった岸本先生に感謝の意を示したいです。

自分は将来日本で医者をするにあたり、他の国の医療現場の状況は全く分からない井戸の中の蛙でしたが、今回の留学体験をもとに、視野も広がり、勉強したことも多くありますので、これを将来の自分のキャリアのためにもっと頑張っていきたいと思います。